

磐城時報

編輯 石城郡平町新屋町十四番地
印刷 石城郡平町新屋町十四番地
電話 石城郡平町新屋町十四番地
代金 石城郡平町新屋町十四番地
印刷 石城郡平町新屋町十四番地
電話 石城郡平町新屋町十四番地
代金 石城郡平町新屋町十四番地

吏員を減首せねばならぬが 手當の財源なし 痛し痒しの町當局

平町では六年度から豫算緊縮に基きれば規定により一人當り二
よつて吏員並に第一小學校教員廿圓乃至三十圓の手當金を贈ら
の俸給給料に大削減を加へられぬばならぬので理事者は痛し痒
来る四月一日から後場吏員十三名の體である。

四倉管内 消防幹部會

四倉警察署管内消防幹部會は二
當局は行橋んでをり目下伏見町十一日午前九時より海盛座に於
長は熱慮中であるが、吏員三名で開催する筈であつたが都合に
高級書記を退職させ、新たに四
五十圓の吏員を採用、その他水
道部、第一小學校にも同様入替
をなすものと觀られてゐるが、
町議間の意向として高給老朽淘
汰をなしに充てる方針である
ので町長の手加減に一般吏員新
員は極度に注目してゐる、然し
當局に於て高級吏員を整理する

謎の貯金通帳

筆筒の板に挟まれ
轉々人出に渡る
二百圓にありついた半玉

數日前平警察署に石城郡内郷村で出頭した、二百圓記入の郵
大字高坂星佐吉といふ男が來り便貯金通帳を届け出で、右通帳
過般細谷正治から筆筒を買つたの名義人は内郷村大字高坂神長
處ヒキ出しと板の間から貯金通帳といふ者で平署で調査した
帳を發見したが身元判明せぬの處次のやうな事實が判明した。

中堅農民卒業式 卒業生は六十八名

石城郡農會主催中堅農民講習會
修了式は二十一日午後一時から
平町團体事務所で舉行するが終
了者は左記六十八名である。(○
印は受賞者)
○内郷村 鈴木一、志賀一
男、吉田宏、赤井、西山里司
○磯上修、海野英吉、木
田森市、矢野伊佐雄、川隅英
馬、鈴木勇、山田、久保木康計つた。
○植田須田、富岡茂
好、須田保平、小川清次、平
窪謙田賢吉、○矢吹與平、岡
部清、鈴木政一、渡邊、岡部
政重、○高木勇、○小野孝一
大井川好孝、織内武治、大友
操、高木秋夫、○大野、西山
昇、○渡邊清、高木操、佐藤
權平、○草野、相川泰良、○渡
邊三彦、○高久小野、○箱
崎幸吾、鈴木藤太、田仲久幸
○勿來藤田三男、○甲高清、
○荒川藤衛、大浦、○佐藤藤、
○高木丑次郎、根本要一、夏
井、○馬目力夫、○坂本豊司、
鈴木英雄、鈴木武夫、○上遠野
○吉田一雄、○箕輪、○高萩正吉
田良夫、○磐崎、○中野、○瀬義
勝、飯野、○伊藤、○加藤邦
廣、鹽長兵衛、田人小林寅藏は過般一徳會から表彰された表
彰、鹽長兵衛、吉田正則、彰状の傳達式を行ふ。

石城郡高久村大字下高久字池、いので大騒ぎとなり附近の者總
作地内貯水池附近に野樂行商人 出で捜索したが、自殺者ではな
の籠、女の股引、煙草入、晝食かつた、同遺留品は同村大字神
等が遺留してあるのを十七日朝谷作字古屋敷市太郎妻チヨ(四
同字中妻七九番地鈴木幸吉が發見)といふ精神病者の仕業と判
見したが、自殺者の遺留品らし明一同引揚げた。

二十日午前七時頃平町六丁目地
内常盤線踏切りに首のない老婆
の體死體があるのを通行人が發
見届出でにより平署から係官出
張検視した處平町鎌田町酒井ク
ラ(八二)が昨夜平發電所まで所
用ありと途中列車に轢かれた一
件書類と共に身柄を平局送り
ものと判明した。

平町事務所移轉
信用組合平庶民金庫では十九日
午後一時から理事會を開き組合
事務所移轉につき協議した。

六丁目線路に
首なし死體

三銭の税金に
困る人々

平町道路改修
南町裏通り道路改修工事は本年
度分延長四十七間一分が過般漸
く縣補助の指令を得たので近く
着工する事になつたが該工事は
役場直營でこの程各材料の見積
を各營業者から出さしめ十七日
の土木委員會に於て最低價のも
のを採用する事に決定せんとす
は堀江工業所、砂、砂利、玉石
は菅野勘助氏、松板及松二寸角
等は龜川材木店等である。

貯水池設置
石城郡
内郷村大字高坂消防組では同字
三本松地内に四十坪、同立野地
内に十坪の貯水池を造る事とな
り工費五十圓で十五日から着工
十八日竣工した、尙同消防組で
は千五百圓でガソリンポンプを
購入する事になつた。

赤井納税表彰式
石城郡赤井村では二十一日午前
九時から同村小學校に於て優良
婦會及び男女青年團聯合總會を
開催する。

信龍殿祭典
平町字
古銀治町良善寺境内の信龍殿で
は四月九日祭典を執行する。

永戸校學藝會
石城
郡永戸村永井小學校では十九日
學藝會を開催した。

萬引未遂
茨城縣多
賀郡日立町生れ淺利きよ(二二)
は新派中村一座に加はつて十五

飛んだ人騒がせ
貯水池附近に遺留品
精神病者の仕業と判明

中澤、山田、岡田の諸博士實驗驚嘆藥學界の權威 松浦泰造先生責任製劑 慢性の胃腸病に妙薬あり

胃腸の薬は驚く程澤山ある家傳薬、妙薬等々。しかしあまりにも多く薬は少ない。私の母は七十一才になりましたが若い時から胃腸が弱く大正十五年には遂に胃癌でなくかと思われ、茂在博士や他の先生方に診て頂き種々の薬をのんでましたがあまりよい結果ではありませんでした。

昭和四年十一月二十二日の夕方突然腎臓病で床についてからは一層悪く痛み出す。背が張る頭が重い等々實に困つてしまひました。

腎臓病がやつと治つたと思つたら今度は神経痛で随分と苦しみました。でも兩者は完全に退治しました。

昨年の十月迄は一進一退寝たり起きたりして一意専心胃腸の妙薬とか家傳薬とかを浴びる程のせんでしたが、やはり思はしくありませんでした。

丁度十月の中頃友人よりの話にて松浦先生の良薬を耳にしにました。また世間ありふれたものと思つてましたが、あきらめの爲にどのんでみましたら、三日目位より永年の言ひ知れぬ不快な気分がなくなり、五日、七日と過ぎる頃は痛みも追々に去り半月目位たつた頃は痛みも不快さもなくなり食慾は大いに進み十一月の中頃には僅か一月の服用にてさし苦しみめられた薬病を見事に追拂つてしまひました。あまりの嬉しさにお知合の方々へ御紹介しましたらごなたからも嬉びの御言葉を頂いて居ります。

右の實際をかゝりて世の同病者特に慢性にてお苦しみの方々へ僅々一ヶ月の御服用をお勧めいたします。

たします。百萬言の營利的名廣告文よりも實際の効果は雄辯にその眞價を物語るとの思ひます。直ぐに申越されよ。その一本の手紙こそは病者を幸福に導くエンゼルです。救世主です。御來訪の方へは散々苦しんだ九ヶ月間の看護の實際を御話申上ります。

(常磐線四倉驛下車) (乗合自動車にて五分) 福島縣久之濱町江之網 新妻 治郎

佛國マルソー會社元詰 生葡萄酒

マルソー・フランク・白 1.10
マルソー・ルージュ・赤

良品にして安價賣行飛ぶが如し 西村屋藥局

通學服

男兒用 特製黒小倉1冊70
紺ヘル 3冊60
紺サージ 3冊60

女兒用 上紺サージ 3冊40
水兵服 3冊40

防水マント種々取揃へて御座ひます

平二 なかや洋服店 電203

外務員募集

▲年齢制限なし品行方正なる人を求む 希望者は最寄代理店に御來談あれ

明治生命保險株式會社

吉田眼科病院

平町紺屋町 電話六八番

久々にて御目見得 浪界日本一巨頭 家東 樂 燕 師 外一門總出演



近日中當地開演 何卒舊倍の御引立を伏而願升

石城産婆看護婦 募集

第卅三回 石城産婆看護婦 募集

一、卒業年限 兩科ヲ通ジテ一ケ年
一、入學資格 高等小學卒業又ハ同等以上ノ學力有ル者へ無試験入學ヲ許ス
一、申込期間 四月八日迄

平町一丁目 (電話三五七番) 石城産婆看護婦學校 校長 鷹崎千代

花柳病科 專門

平町六丁目橋際 木村外科醫院 電話三〇九番

謹啓父四郎儀永らく病氣の處養生 不相叶本日午前一時三十分死去仕 候間此段御通知申上候

葬送の儀は來る二十一日午後二時自宅出棺菩提院に於て佛式相替み申候

昭和六年三月十九日 石城郡平町二丁目 白土謙次郎

磐城佑賢學舎生徒募集

一、本科 入 高等科卒業程度ノ男女
一、普通科 學 尋常科卒業程度以上ノ男
一、新農蠶科 格 高等科卒業程度ノ男女

右各科共ニ入學試験ハ行ハズ願書受付領ニ入學ヲ許可ス
一、新學期開始 四月 六日
一、詳細ハ規則書請求ノ事

昭和六年三月 平町六間門二十番地 磐城佑賢學舎 (電話九三)

絕對無砂搗胚芽米

値段は市價と同じで差上げます 賃搗も致します

平町仲町 (平稅務署前) 絕對無砂搗胚芽米 山野邊精米所 電話一九三 (呼)

債券、公債、兩替金融

多田井質店 平町大工町 (電話五九二番)